

陶磁器デザインアプリ「iroe」・「iroe2」運用への支援

松本 奈緒子
佐賀県窯業技術センター

当センターでは、令和4年度に県内の陶磁器産地内で使用されている絵具の色見本とその色を用いたカラーデザインや絵付けデザインを行うことができるアプリケーション「iroe」を開発し、令和5年4月にリリースした。今年度は引き続きアプリ内の絵具データや文様データ、形状データの追加を行った。さらに、ふるさと納税を通して一般ユーザーが実際にデザインした器を手に行けるための、アプリの改修や産地内の体制づくりを関係部署と協力して行い、「iroe2」の運用をスタートした。人気アニメとのコラボ等を行い、アプリを通してユーザーと伝統工芸をつなげる取り組みをスタートした。

キーワード：陶磁器、デザイン、アプリケーション、伝統工芸、産地支援

Support for the project of the ceramic design app “iroe” and “iroe2”

MATSUMOTO Naoko
Saga Ceramics Research Laboratory

In the fiscal year 2022, our center developed ‘iroe’, an application that allows users to view color samples of pigments used in the prefecture’s ceramics-producing regions and to create color and decorative designs using those colors, and released it in April 2023¹⁾. During the current fiscal year, we have continued to add pigment, pattern and shape data to the app. Furthermore, in collaboration with relevant departments, we carried out modifications to the app and established systems within the production areas to enable general users to acquire the vessels they have designed through the ‘Furusato Nozei’ (Hometown Tax Donation) scheme, and launched the operation of ‘iroe2’. We have also initiated initiatives to connect users with traditional crafts through the app, including collaborations with popular anime series.

Key Words: Ceramics, Design, Application, Traditional Crafts, Production Area Support

1. はじめに

アプリケーション「iroe(いろえ)」は、佐賀県の伝統的な陶磁器産業において、絵付け加飾製品の継承と発展、及び利便性の向上やデジタル化等を目指し、絵具のカラーチャートとその色で絵付けデザインができるツール系アプリとして開発されたもので、令和5年4月にリリースされた¹⁾。リリース以降、アプリの充実化のため、絵具データ、形状データ、伝統文様データの追加を行うとともに、ウェブサイトの作成や SNS での情報発信、展示協力などの支援を実施してきた^{2,3)}。

このような取り組みを進める中で、アプリ上でデザインしたものを現実品として購入したいというユーザーからの要望が聞かれるようになった。そこで、今年度はアプリの充実化や展示協力等を引き続き行いながら、関係者と連携しアプリ上でデザインしたものをユーザーが実際に現






品として購入できるための体制づくりとアプリの改修を実施し、産地内での運用をスタートした。それらの内容について報告する。

2. アプリの充実化のための各種データの追加

2.1 下絵具データの追加

アプリの主な機能として、色見本コンテンツと、絵付け体験コンテンツを搭載している。色見本コンテンツでは、

表1 追加した5色の下絵具データ

	絵具名	メーカー	近似色	マンセル H	マンセル V	マンセル C
1	黒茶	岸川絵具		8.11YR	2.25	1.11
2	黒茶	岸川絵具		8.44YR	3.74	2.21
3	黒茶	岸川絵具		9.54YR	5.17	2.35
4	新オレンジ	岸川絵具		7.68YR	7.02	5.43
5	新オレンジ	岸川絵具		9.37YR	7.72	3.11

令和6年度に下絵具を追加し、下絵具(呉須)は17色、上絵具(無縁上絵具)は144色の色データを掲載していた。今回はさらに下絵具データを5色追加し(表1)、合計で、下絵具22色、上絵具144色となった。

2.2 形状データの追加

アプリ内の絵付け体験コンテンツでは、絵付けを行う器の形状は当初は2形状(湯呑み、平皿)であったが、これまでに茶碗と角皿の2形状を追加し、計4形状としていた。今回はさらに1形状(長皿)を追加し(図1)、合計5形状となった。

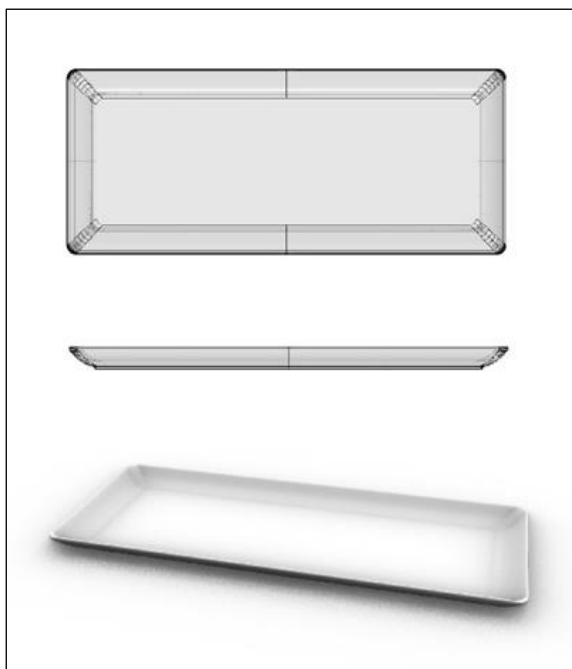


図1 追加した長皿の形状

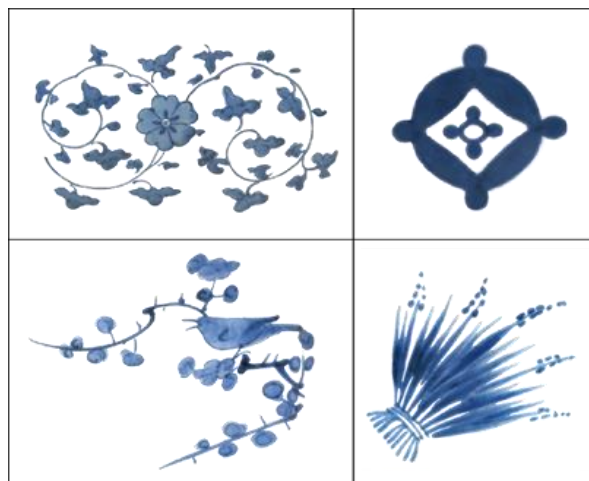


図2 追加した文様(下絵4種)

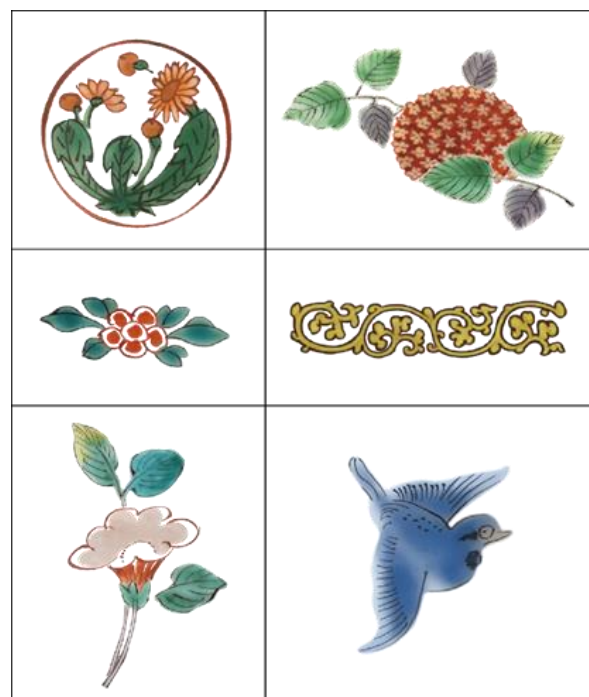


図3 追加した文様(上絵6種)

2.3 伝統文様スタンプの追加

アプリ内の絵付け体験コンテンツでは、佐賀県陶磁器産地の伝統文様をスタンプにしてデザインに使用できる機能を搭載しているが、今年度は新たに伝統文様スタンプ計10種(下絵付用4種、上絵付用6種)を追加した(図2,3)。伝統文様のデータは、これまでと同様、佐賀県立九州陶磁文化館の協力のもと撮影した収蔵品の画像から文様を編集し、新たなスタンプとして追加した。使用できる伝統文様スタンプは、合計で下絵付用34種、上絵付用30種となった。

3. PR 展示・関連する展示への協力等

3.1 有田陶器市での iroe アプリ PR 展示

iroe アプリについて、一般ユーザーへの周知を促し利用者を増やすため、第121回有田陶器市においてブースを出展し、アプリに関する情報の周知を行った(図4)。

【実施内容】

第121回有田陶器市 iroe ブース出展

令和7年4月29日(火・祝)～30日(水) ※陶器市期間中のうち2日間

ブースにおける iroe アプリの PR 内容

- ① 来場者へのチラシ及びPR品の配布
- ② 希望者へのアプリダウンロードおよびアプリ操作のサポート

会場では、ブース訪問者へチラシの配布やアプリダウンロードを促し、その場でダウンロードいただけた方には、配布用に作成していた「iroe シール」(図 5)をお渡しするなどして PR を行った。陶器市会場の電波環境が悪く、その場でのダウンロードや SNS フォローがスムーズに行えなかったことは想定外であったが、ブースへの来訪者にはおおむねアプリを好意的に受け取っていただくことができた。



図4 有田陶器市に出店したブースの様子。



図5 ブース訪問者に配布した iroe シール。

3.2 佐賀県陶磁器工業協同組合による展示協力

陶器市期間中は、佐賀県陶磁器工業協同組合にも展示協力をお願いし、同組合の展示スペース内に今回の iroe アプリの展示スペースを設けていただいた(図 6)。なお、佐賀県陶磁器工業協同組合内のギャラリースペースは令和7年11月13日に「MONO・NO・SU Ceramists' Gallery&Shop」としてリニューアルオープンとなったが、引



図6 陶磁器工業協同組合での展示の様子。

き続き展示協力をしていただき、その一画に今回の iroe アプリも常時展示としていただいた。

3.3 戸栗美術館の企画展への展示協力

戸栗美術館から依頼を頂き、古伊万里の色に関する企画展に関連して、当センターで作成した上絵具カラーサンプル⁴⁾と iroe アプリ等の展示協力を行った(図 7)。

【展示概要】

名称: 古伊万里カラーパレット—絵具編—



図7 戸栗美術館 企画展フライヤー。

会期:2025年10月10日(金)~12月21日(日)

会場:戸栗美術館(東京都渋谷区松濤1-11-3)

展示会場では、内容に関連した流れでカラーサンプル等の展示をしていただき、アプリは使い方を含めたパネルの展示と、その場でアプリの体験ができるようにタブレットの展示をしていただいた(図8,9)。来場者にも好評だったとのことで、多くの方にアプリを知って触れていただく機会となった。



図8 カラーサンプル展示の様子。



図9 アプリの展示の様子。

4. 「iroe2」のリリースと運用

4.1 「iroe2」の機能

アプリの中でデザインしたものをユーザーが陶磁器の現品として実際に購入できるような仕組みとして、まずは佐賀県のふるさと納税で取り組みを行うこととして準備を

進めた。「iroe」は、絵具のカラーチャートとその色で絵付けデザインができる機能を搭載しているが、ユーザーがデザインした器を手にするができるようにするためには、産地側の体制づくりとアプリの機能改修が必要であった。体制としては、佐賀県陶磁器工業協同組合、伊万里・有田焼伝統工芸士会と協力し、デジタル上のデザインを製品として実際に絵付けをして完成させるために必要な手順や図面の要素等について、様々な打合せを重ねて準備を進めた。アプリの機能としては、器の形状をまずはマグカップ形状1種に設定し、3D画面でデザインができるように改良を行った。また、ユーザー登録やコード入力の機能など、必要な要素を構成した。そして「iroe2」として、令和7年10月24日にリリースを行った。

(※「iroe」初期バージョンはそのまま使用が可能。)

※iroe2 アプリのダウンロード URL



(google play)



(app store)

4.2 アニメとのコラボレーション実施

「iroe2」のリリースに合わせ、佐賀県を舞台にしたアニメ作品「ゾンビランドサガ」の劇場版『ゾンビランドサガ ゆめぎんがパラダイス』とのコラボ企画を実施した(佐賀県産業労働部 流通・貿易課、さが県産品流通デザイン公社との協働企画)。「iroe2」アプリ上で、ゾンビランドサガのオリジナル描き下ろしキャラクター1体と伝統文様スタンプ3点を自由に組み合わせてマグカップをデザインすることができ、完成したデザインをもとにキャラクター部分はスクリーン転写、伝統文様部分は伝統工芸士が手描きで仕上げ、作品を寄附者の元へ届ける、という企画であった(図10,11)。映画の公開と同時に受付を開始し、1月末の締切りまでに最終的に100件を超える申込みをいただいた。

実際の製造時にはスクリーン印刷でのキャラクターの転写紙制作において色や細部の再現に時間がかかったことや、申込者の自由な文様配置の絵付けのデザインを再現することに苦勞する等の課題があったが、伝統工芸士の方々の工夫や巧みな技術によって、無事に作品が

仕上げられた。また、注文を受けて制作工程を管理し発送までを行う、といった一連のオペレーション対応を佐賀県陶磁器工業協同組合の担当者の協力のもと実施し、運用が無事に進められた。熱烈な「ゾンビランドサガ」ファンにも好評いただき、「アプリでデザインしたものを、伝統工芸士が絵付けをして作品にし、ユーザーに届ける」という最初の取り組みとしては良い実施例となった(ゾンビランドサガコラボのふるさと納税申し込みは令和8年1月31日まで、アプリ上でのコラボは令和8年3月31日までで終了した)。



図10 ふるさと納税ページのサムネイルの一部
(@劇場版ゾンビランドサガ製作委員会)



図11 ゾンビランドサガとのコラボ用マグカップサンプル。
(@劇場版ゾンビランドサガ製作委員会)

4.3 伝統文様バージョンを公開

令和8年3月3日に、アニメとのコラボバージョンに引き続き、伝統文様と自由な線描きでデザインができるようアプリの機能のさらなるアップデートと、伝統文様バージョンのふるさと納税返礼品としての取り組みを開始した。本

バージョンでは、マグカップに加え、平皿 2 サイズ (15cm/21cm)の3形状から選択ができ、手描きも含めて3文様までデザインを可能とした(図12,13,14)。この取り組みでは、手描きの自由な線描きが可能となることから、伝統工芸士の方がデザインを再現する際の煩雑さを避けるため、上絵具の色と、上絵付けの筆の太さを絞り込み、運用性を高めてスタートした。今後、イベント等での周知を行いながら取り組みを進めていくところである。

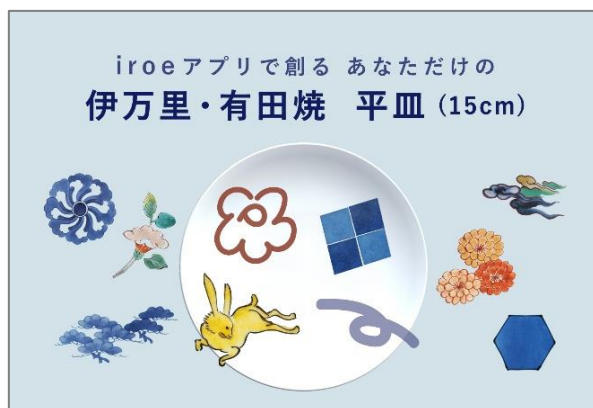


図12 伝統文様バージョンのふるさと納税ページのサムネイルの一部



図13 伝統文様バージョンのふるさと納税ページのサムネイルの一部



図14 伝統文様バージョンのふるさと納税ページのサムネイルの一部

5. 今後の課題とまとめ

今年度は、iroe アプリの充実化や普及活動、展示協力を行うとともに、iroe2 のリリースを行った。それによりユーザーがアプリでデザインをし、それを産地にある職人の技術で作品にしてユーザーに届けるという、ユーザーと伝統産地をつなぐ取り組みをスタートすることができた。認知度が低いなどまだ今後の課題は多くあるが、運用を進めながら改良に取り組み、産地の伝統文化や職人の技術がより評価されるためのさらなる取り組みへつなげていきたい。

参考文献

- 1) 松本奈緒子, 佐賀県窯業技術センター令和4年度研究報告書・支援事業報告書, 12-14 (2022).
- 2) 松本奈緒子, 佐賀県窯業技術センター令和5年度研究報告書・支援事業報告書, 23-25 (2023).
- 3) 松本奈緒子, 佐賀県窯業技術センター令和6年度研究報告書・支援事業報告書, 22-26 (2024).
- 4) 松本奈緒子他, 佐賀県窯業技術センター平成30年度研究報告書・支援事業報告書, 6-10 (2019).